

未来の 医療を支える、 仕事図鑑。

多彩な職種を知り、
あなたの未来もイメージする。



メディアグループホールディングス株式会社



”
いろいろ
いろいろ
な役割。
な才能、
“

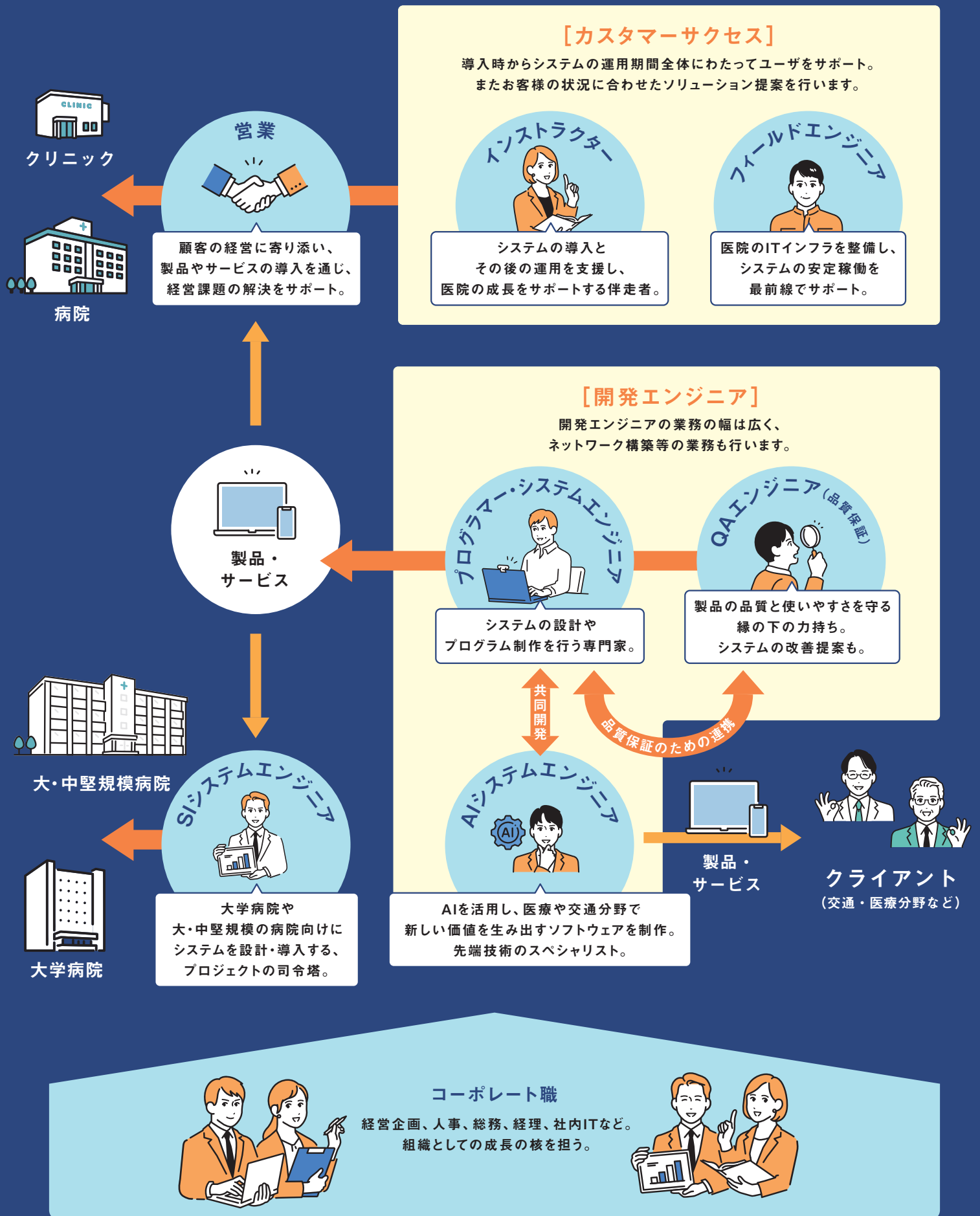
向かう先は、ともに伸びる未来です。

メディアグループには、さまざまな役割を担う人たちがいます。

医院の経営に寄り添う営業、クライアントの成長を支えるインストラクター、サービスを生み出し維持する各分野のエンジニア、会社組織を盤石に支えるコーポレート職。一見バラバラに見える仕事も、「Grow Up Together」の理念のもとでつながり合い、お客様に、社会に、新しい価値を届けています。

この冊子では、職種ごとの仕事内容ややりがいを紹介しています。ページをめくりながら、あなたの未来も重ねてみてください。

職種紹介図



経営をサポートする存在 医院のパートナーとして、

Q.どんな仕事？



営業は、医院の院長やスタッフに寄り添い、課題解決を提案する職種です。システム入れ替えや新サービス導入を通じて、「経営のサポート役」と「医療DXの推進役」を担います。インストラクターやエンジニアと連携し、「人と人との信頼」を基礎に新しい契約へとつなげます。

Q. 一日の流れは？

- 10:00 医院を訪問して受付スタッフなどとシステムの稼働状況を確認。診療の合間にドクターから課題や要望をヒヤリング。
- 12:00 患者さんのいない昼休みや診療の合間に商談を行います。
- 15:00 日中の空き時間を活用し社内資料作成や次の訪問準備。展示会や既存顧客からの紹介案件にも随時対応していきます。
- 18:00 診療後も商談のチャンスです。そのまま直帰することも。



営業の現場から

「ありがとう！」を聞くまでが営業活動です。

お客様が新しくシステムを導入された際には導入後の安定稼働までをサポート。院長先生から感謝の言葉をいただくとき、医院の経営を支えている手応えを感じられます。



持ち帰った質問の数だけ、成長がある。

医療制度やITの知識は日々変化するため、勉強は必須。営業先で受けた質問に即答できなくても、持ち帰って調べるプロセスを繰り返すうちに力がついていきます。



新人の挑戦大歓迎。
専門家がサポーターにつきますから。

インストラクターやフィールドエンジニアとチームで動く文化があります。専門的な質問はその場で先輩や他部署に相談できるため、新人でも安心して挑戦し、成長できる環境です。

Real Voice /

医療DXが加速する今、製品を売るだけではお客様の満足は得られません。営業には、最新情報を捉え、経営課題を解決する提案力が求められます。そのため、制度改正や医療・ITの進化に常にアンテナを張り、知識を磨き続ける姿勢が欠かせません。

ともに成長する伴走者 医院とともに歩み、

Q. どんな仕事？



インストラクターは、システム導入から運用まで医院を支える存在です。導入時の指導や設定支援に加え、運用後も相談対応や改善提案を行い、営業・エンジニアと連携しながら長く伴走します。課題解決を通じて医院の成長を後押しする、カスタマーサクセスの役割も担います。

Q. 一日の流れは？

- 10:00 医院を訪問して新製品の導入支援や操作説明を実施。
導入時は複数回訪問し、ドクターやスタッフへ操作指導や運用指導を行います。
- 14:00 別の歯科医院を定期訪問。
課題や要望のヒヤリングを行いながら新商品を提案。
- 16:00 社内で問い合わせ対応や設定変更依頼の対応。



インストラクターの現場から

求められる
コミュニケーション能力も、
一味違います。

導入には長ければ半年かかることもあります。丁寧なコミュニケーションで信頼を築き、長くお客様に寄り添う仕事です。中には長年にわたり関係を続けるメンバーもあり、ともに伴走する喜びがあります。

直接いただく感謝が、
やっぱりイチバンの報酬。

医院の先生やスタッフから頼られる存在として直接感謝を伝えていただきやすい仕事です。仕事の幅は広く知識のインプットも大変ですが、頑張ったと心から思えます。

まずはきちんと聞けること。
キャリアを築く土壌になります。

OJTやロールプレイングで仕事を学び、まずは周辺サービスの導入から担当。1～2年で小規模の導入からスタートし、一人前になり経験を積み重ねたうえで、大規模導入や専門分野にも挑戦できます。



Real Voice /

大切にしているのは聞く力。声を丁寧に受け止めて初めて必要な支援ができます。加えて誰よりもシステムに詳しくあること。この二つを両輪に、お客様と一緒に成長していきたいです。



現場で守るエンジニア 医院の安心を、

Q. どんな仕事？



フィールドエンジニアは、製品の設置・保守・新製品提案の三本柱で医院を支える仕事です。電子カルテや画像システム、自動精算機などを扱い、導入後も営業やインストラクターと連携し、困りごとの解決や業務改善の提案を行いながら医院に寄り添います。

Q. 一日の流れは？

9:00 出社して訪問準備や事務作業。
12:00 お昼休みに合わせて医院に入り納品や設定作業。
14:00 ハードウェア障害が発生したユーザの保守対応。
17:00 医院でインフラ設備やシステムの設定、納品作業を実施。



フィールドエンジニアの現場から

武器になるのは人柄。だから理系も文系も活躍できる。

技術は入社後にしっかり学べるため、この仕事に最も求められるのは人柄や会話力。ユーザの運用環境はさまざま。現場では状況判断力とコミュニケーション力が重要です。

届けているのは、「診療を止めない安心感」。

製品一式を設置してインフラを整え動作確認を終えると、先生が「これで明日朝から診療できる!」と笑顔に。安心できるシステム運用環境を構築する責任と達成感があります。

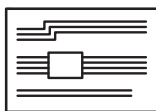
突発トラブルに慌てる医院を、ヒーローのように救うために。

医院からの「システムが動かない」といった急報に備えて待機メンバーを置いています。「いざというときに動ける仕組み」を提供することで、医院の安心を守っています。



Real Voice /

現場では100点を求められるため、ミス防止の準備を徹底。ただ若手には「怖がらず挑戦して」と伝えたい。将来は技術を活かしてソリューション提案の幅を広げ、さらに頼られる存在を目指したいです。



システムに 命を吹き込む職人

Q. どんな仕事？



プログラマーは、設計書をもとにプログラムを実装する仕事です。電子カルテや周辺ソリューションシステムなどの医療現場を支えるプログラムをコード化してリリースします。リリース後もお客様の声を反映し、改善を重ねて信頼性の高い製品を完成させます。

Q. 一日の流れは？

- 9:00 前日に発生した不具合や改修要望の確認。
- 10:00 プロジェクトメンバーで集まり、進捗報告や課題に対する話し合いを行います。
- 13:00 コード修正や新機能開発に集中。
QAエンジニアからの報告に基づき修正。
- 17:30 進捗をまとめてチームに共有します。



プログラマーの現場から

現場を変えるのは、
あなたが書くコードかもしれない。

営業から「先生が“とても使いやすく効率が上がった”って言っていたよ」と聞かされガッツポーズ。お客様からは見えない裏方の仕事ですが、医療現場の環境を改善できる仕事です。

画面とにらめっこの、
大切な一日。

一文字のミスでプログラムが動かなくなることも。それでも「失敗は経験値」をキーワードに、真摯にデバッグ作業に向き合う。根気強さは欠かせない適性のひとつです。



3年後、
急に湧いてくる改善イメージ。

3年もすれば改善提案ができるようになってはいるはず。開発経験を積む中で上流工程にも携わり、システム全体を統括するプロジェクトリーダーへの道につながります。

Real Voice /

素直に聞くことは成長に欠かせません。分からないことは質問し挑戦する。失敗も経験に変えることで、将来はプロジェクト全体を見渡して設計を担い、医院に役立つ製品を作りたいです。



"安心"と"使いやすさ"を 提供する品質保証

Q. どんな仕事？



QAエンジニアは、製品の品質を守る重要な役割です。プログラムのテストでは、製品が設計通りに動くかを徹底的に確認し、画面表示や操作の動きなどからプログラムに不具合がないか細かくチェックして品質向上に繋がります。

Q. 一日の流れは？

- 9:00 テスト仕様書のレビューを行い、チームメンバーで意見を出し合い整理する。
- 13:00 レビューを終えたテスト仕様書に沿ってテストを実施し、結果を記録。
- 17:00 見つかった不具合を開発にフィードバックし、必要に応じて再テスト。



QAエンジニアの現場から

システムの運用を支える
マスター作りも行います。

QAエンジニアは「テストチーム」と「マスターチーム」に分かれ、プログラムの動作確認と診療報酬・保険制度に合わせたマスター整備を行います。縁の下の力持ちとして現場の安心を支えます。

成長が早い人の共通要素？
それは「なぜ？」を見つける力です。

この仕事で重要なのは「なぜだろう」と疑問を持てること。自分で考え、各工程のつながりが見えるようになると、一気に成長速度が上がります。



まずは「仕様書通り」から
確実にスタート。

配属後最初にお任せするのは先輩が作ったテスト仕様書に沿ったテスト業務。システムへの理解度を高め将来の成長土台を築いてもらいます。

勉強環境は万全。
成長はあなた次第？

診療報酬改定のたびに知識のアップデートが必要です。厚生労働省やデジタル庁の動向にアンテナを張り、医療ベンダー主催の組合にも参加。学び続けられる環境を確立しています。



Real Voice /

大切にしているのは、疑問をすぐ聞き、放置せずに調べること。仲間の声を受け止め品質を守り、将来はマスタースキルを高めて医院ごとの課題に応えられるチームをつくりたいです。

「司令塔」

病院プロジェクトの

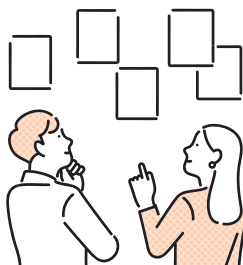
Q. どんな仕事？



SIシステムエンジニアは、大規模病院のシステム導入を指揮するプロジェクトの司令塔です。歯科システムを医科システムと連携させ、運用環境を整え、保守業務として制度改正への対応も行います。

Q. 一日の流れは？

- 9:00 病院や連携するシステム会社の会議に出席し、運用フローや仕様の調整。
- 13:00 インターフェースの検証やユーザからの要望をシステムに反映させる作業の実施。
導入期にはインストラクターと協力してドクターやスタッフに操作指導を行い、保守期にはトラブル対応や運用相談にも対応していきます。
- 17:00 翌日の業務に備えて出張の準備。



SIシステムエンジニアの現場から

大きな責任とともに描く「来院患者さんの動線」。

大学病院では、システムが想定通り動かないと診療や会計が止まり大きな損害に。最初の会議で作るのは、受付から会計までの運用フロー図。多様なスタッフの意見をまとめた線と矢印が、病院の毎日の動線になります。

「歯科システムはメディアさんでないと」。

歯科分野のスペシャリストであるメディアの製品は、病院の歯科部門にシステム導入の際、連携する医科システム会社からも高く評価されています。長年築いてきた強みが活かされる瞬間です。

そのコミュカ、3年以内に開花させます。

この仕事で大切なのは「正確なコミュニケーション力」。IT知識がなくても入社後研修で身につけられますし、人の流れや仕組みを理解して調整できれば活躍できる仕事です。

部署間の専門用語を繋いでいく、通訳のように。

部署ごとの呼び方の違いを見抜き通訳してシステムに反映することも重要です。用語統一や部署間調整で病院全体の滞りを防ぎます。



Real Voice /

一番大切なのは、話して・伝えて・理解し・形にすること。誰とでも合意を作る力が武器になります。目標は“大学病院の歯科システムといえばメディア”と言われる実績を積むことです。

AIの力で可能にする 不可能だったことを、

Q. どんな仕事？



車のナンバー自動読み取りや歯科レントゲンからの骨粗しょう症リスク判定など、最新AI技術や画像処理技術を活用し、研究から製品化まで携わり社会や医療を支えています。岐阜大学内のAIセンターや社内の高性能機材を活かし、教授や学生と協力して成果を製品化へつなげています。

Q. 一日の流れは？

9:00 AIモデルの学習結果や進捗を確認。
13:00 新しいアルゴリズムの実装や論文の検証など。
15:00 文献調査や社内外メンバーとの情報共有MTG。
16:00 大学や病院との打ち合わせに参加。



AIシステムエンジニアの現場から

常識が変わる。その瞬間に立ち会える。

例えば数年前までは、レントゲン画像から歯を一本ずつ検出することは技術的にほぼ不可能でした。今ではAIで対応でき製品化まで。工夫次第で、不可能を可能に変えられます。

就職は研究の終わりじゃない。

その成果の一つが、顎骨の脆弱性から骨粗しょう症のリスク判定を支援するソフトウェアです。歯科分野で初のプログラム医療機器として薬事承認され、長年の研究がついに形になりました。

一人にはさせません。 仲間とともに、大きな成果を。

AIモデルの学習工程には数日かかることもあり、その間も社内外のメンバーと協力して研究を進めています。チームで成果を出す文化があるからさまざまな仮説に挑戦できます。

コツコツ成長も、 自分好みのテーマを追求も。

最近ではChatGPTを使ったカルテ入力支援の仕組みを入社2年目のメンバーが担当したことも。成長に応じて挑戦できる仕事環境を用意しています。

知る→試す→それがビジネスになる。

AIに関する技術は特に進歩が早く、数か月で常識が変わります。普段から新しい論文を読み、実装を試すことが欠かせません。「学びを楽しむ人」が伸びる職種です。

Real Voice

大切にしているのは、新しい技術を面白がって学び続けること。産学連携や、会社としても投資を惜しまない開発環境をベースに、研究と製品化をつなぐ存在として挑戦し続けたいです。



選考について

Q1 配属先はどのように決まりますか？

A. 内定時に配属する部署や勤務地をお伝えしています。面接の中で一人ひとりの希望や適性、挑戦したい気持ちを伺った上で、最終的に会社が決定します。安心してキャリアを描けるよう、丁寧にすり合わせを行います。

Point!

やりたいことは遠慮なく伝えてOK。会社としても「人が活きる配置」を大切にしたいと考えています！

Q2 他の職種と併願はできますか？

A. はい、可能です。面接で希望を伺いますので、複数の職種に興味がある場合は気兼ねなくご相談ください。

Point!

「まずは広く挑戦したい」なんて声も歓迎。最初の選択に縛られず、後から方向性を一緒に考え直すこともできますよ。

働く際に

気になるギモン、 まとめて答えます！

就職活動を進める中では、仕事内容以外にも気になることがたくさんあると思います。ここでは、学生の皆さんからよくいただく質問に答えながら、安心して働ける環境をご紹介します。



入社後について

Q3 どのようなキャリアステップが歩めますか？

A. 将来的なキャリアステップにはマネジメントコースと専門性を極めるエキスパートコースの2区分があり、自分の強みや志向に沿って選択できるのが特徴です。

Point!

研修やOJTも充実しているので、知識ゼロからでも安心して成長できます。独り立ちの目安は平均すると3年くらいです。

Q4 転勤はありますか？

A. 本人の意向に沿わない転勤はありません。転勤は、仕事内容やキャリアの選択、仕事の環境を変えたいなどの本人の希望と人員計画をすり合わせて決定します。また、住宅補助や帰省手当・単身赴任手当など、手厚いバックアップ制度があります。

Point!

「社員全員が安心して働ける環境を整える」ことが会社の姿勢。だから環境の変化も、制度面で全力でサポートしています。

「医療×IT」で、 社会とあなたの未来をつくる。

歯科ICTやAI画像処理などの新しい技術をもとに、

私たちは医療業界を大きく前進させていきたいと考えています。

すでに私たちの製品は全国の医院で使われ、歯科と医科との連携も実現してきました。

あなたも一緒に、私たちの挑戦に参加しませんか？

特別な経験がなくても大丈夫。入社後しっかり学べる環境があります。

新しいことにワクワクできる心と、社会を変えたいという意志を持ち、

社会とあなたの未来をここで一緒に作りましょう。



メディアグループホールディングス株式会社



◀ 採用サイト

<https://saiyo.mediagroup.co.jp>



◀ 企業サイト

<https://mediagroup.co.jp>